

KUC講演会と懇親会



神戸大学練習船 深江丸

参加費

会員4,000円
ビジター5,000円
平成卒2,000円

日付

2019年 8月22日 木

時間

講演会／18:30～19:30 懇親会／19:40～21:00

場所

湊川神社 楠公会館

〒650-0015 神戸市中央区多聞通3-1-1 Tel.078-371-0005 JR神戸駅下車徒歩3分

■講演会

「世界一の地震大国・火山大国に暮らす覚悟」

神戸大学海洋底探査センター長

巽 好幸 教授



主催／神戸大学クラブ（KUC）

お問い合わせ／Tel.078-882-5335(神戸学術事業会)

地震を起こす海底活断層を、大阪湾全域で探査する！

2018年6月18日に最大震度6弱の大阪府北部地震が発生しました。これまで知られていなかった活断層が動いたのです。1995年に阪神淡路大震災を経験していたにもかかわらず、多くの人々は近畿地方が日本列島でも最高レベルの活断層密集域であることを忘れていました。そしてもうすでに、大阪府北部地震のことすらも忘れていたかもしれません。

地震大国とも言われる日本は、いつどこで地震が起きてもおかしくない国です。世界で発生するマグニチュード6以上の地震の1割が、日本で起きています。そんな国で暮らしているということを私たち自身が忘れないためにも、過去に起こった地震を読み取り、適切に情報を発信することが重要です。また、それが私たち研究者の使命だと思っています。

大阪湾は今でもどんどんと沈降を続けていて、海底にはそれに伴う活断層が存在しています。まさに直下型地震と津波の「巣」なのです。一方で、海底活断層の調査には船が必要なこともあり、陸上の活断層と比べると調査が進んでいません。私は、地震を引き起こす活断層の存在と活動経過、およびその形成メカニズムを明らかにしたいと考え、大阪湾の地下構造を詳細に把握するための研究を進めています。

(神戸大学海洋底探査センターホームページより)

講師紹介

巽 好幸 神戸大学海洋底探査センター教授



大阪湾に存在する断層がずれて地震が発生するとマグニチュード7.5程度が予想され、地震から5分後には神戸市に最大4.5mの津波が襲来する可能性が指摘されている。神戸大学海洋底探査センターでは、調査費用としてクラウドファンディングで約240万円の寄付を集め、来春から神戸大学練習船「深江丸」による大阪湾全域にわたる海底活断層調査を行う。

【プロフィール】

1954年、大阪府生まれ。理学博士。専門はマグマ学。独立行政法人海洋研究開発機構地球内部ダイナミクス発展研究プログラムディレクター。78年、京都大学理学部卒業。83年、東京大学大学院理学系研究科(地質学)博士課程修了。京都大学総合人間学部教授、同大学大学院理学研究科教授、東京大学海洋研究所教授を経て、現職。

お申し込み方法 電話 (078-882-5335) ・ FAX ・ Eメールで (申込締切8月15日)

✉ kobe@kobe-u.com

Eメールでお申し込みの場合は、氏名・卒業年度・卒業学部・お電話番号・同伴者名を明記いただき、上記アドレスまで送信ください。電話で不在の場合は留守電で上記内容をお伝えください。

FAX申込書

FAX送信先 078-882-5335

ふりがな 氏名	電話番号
卒業年度 年	卒業学部
同伴者氏名 (ある場合)	E-mail(任意)

神戸大学クラブ (KUC)

講演会の詳細はWEBで！

〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1 神戸大学三木記念同窓会館内
[TEL・FAX]078-882-5335
[E-mail]kobe@kobe-u.com

神戸大学クラブ

